

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 3 月 7 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105222
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホームはるかぜ西伊敷
所在地	鹿児島市西伊敷4丁目45番5号 (電話) 099-228-2772
自己評価作成日	2027年1月23日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	2027年2月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅街に位置し、広い敷地には季節の野菜や花を植え利用者の方々と共に草取り、肥料やりと端正に育て、収穫しては共に調理して食すなどしています。また、業務に捕らわれず朝の集い等で思いや意向を伺いドライブや買い物に出かけるなど臨機応変な業務を行い常に利用者主体のケアに取り組んでいます。身体機能維持向上を図る目的で個別に体操、リハビリにも力を入れた支援を実施しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

住宅街の幹線道路沿を少し入った閑静な場所にあり、事業所の庭に続く菜園、その先に竹林があり自然豊かな環境である。菜園では、ネギ・ブロッコリー・玉ネギ・じゃがいもなどが収穫され、利用者の楽しみになっている。家族も草取り、花や手作りのお菓子の提供、誕生会と一緒にバースデイケーキを作るほか、入浴の協力もある。「いつまでもおいしく楽しく食べたいものが食べられるよう、お口の中をきれいに守ります。」と理念に掲げているように、協力病院の歯科医の指導のもと口腔ケアも行き届いており、棚に利用者ごとに準備配置されている。気候が良い日には入浴よりドライブを優先させたり、時間を変更するなど利用者の意向をくみ、柔軟な支援に取り組んでいる。事業所に地域交流室があり、会合などに利用されており地域に根ざした事業所運営が行われ、地域密着型が実践されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、見える位置に掲げ、全職員のネーム裏にも記載され、朝礼にて唱和を行い、常に理念を意識したケア提供に努めています。	5つの理念がありネーム裏に記載され朝礼で唱和し理念の意識付けを行っている。食の自立を念頭にコミュニケーション活動を重視し利用者の思いの推察・把握に努めている。ユニットごとに健康面に留意し誤嚥のない経口支援、職員の連携による自立支援を目標にしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時に声をかけられたり、挨拶をかわし、夏休みにはホーム庭で、子供らと共にラジオ体操に参加、また、地域文化祭に出展したりと交流を図っています。	地域の避難場所になっており事業所内に地域交流室もあり地域の会合に使われている。文化祭に手作り作品を出展したり夏祭り・花火大会の他、清掃の参加もしている。中学生の職場体験ボランティアの受け入れもある。夏休みには事業所内の庭でラジオ体操があり地域の中にとけ込んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	鹿児島市・県からの広報紙や研修の知らせなど回覧へ回したり運営推進会議に参加された町内会長・民生員さん等の協力の下地域貢献に努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	お便りを参考に行事報告やホームの現状を話し、出された意見やアドバイス等は、ホームミーティングで話し合いサービス向上に繋げています。	町内会長・民生委員・地域包括支援センター・家族の他協力病院の参加がある。時間も夕方六時半からと参加しやすい設定にしている。行事予定や行事報告のほか菜園の指導や苦情のアドバイスなど多方面から意見が交わされている。防犯用センサーライトや外階段に門扉を設置したり交番の定期巡回に繋がったりと会議の内容が活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	鹿児島市の相談員受け入れや包括支援センターとの連携、市の介護支援課へ出向き相談を行うなど実施しております。	地域包括支援センターとの協力連携があり、市の介護支援課、福祉課にも相談に出向いている。市からも案内、情報交換があり連携が出来ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行うことで起こりうる弊害を十分に熟知し身体・生命に害を及ぼす危険のあるときは、御家族と相談の下行っています	月一回身体拘束委員会が開催され検討また研修が行われている。声掛けにも十分に留意がなされており利用者一人ひとりに寄り添った声掛けがされている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を行い委員会を開催し職員間でケア提供時に気づき、注意し合う環境作りに努め防止に取り組んでいます		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	主に管理者が研修に出向き勉強を重ね相談に応じています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書・契約書を入居時に説明を行い、不安や疑問点には理解できるよう納得されるまで説明を行っています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>各居室へノートを掲げ来所時に意見・要望・相談など自由に書けるよう支援し、また、その都度応対に出た職員へ気軽に話せるよう努めています。家族会も開催し運営に反映させています</p>	<p>年2回家族会がある。家族だけで話し合う時間を設けたり、各居室にノートがあり生活全般に渡る意見・要望を気軽に伝えるように配慮、工夫している。毎月の事業所の便りと毎日の利用者の生活の様子を郵送し詳しく報告している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング・委員会・ケア提供時に出された意見や提案は、全員で話し合い運営に反映させています</p>	<p>レクリエーションの企画立案・外出支援の勤務変更など職員の意見や提案が反映されている。職員が笑顔がなければ利用者の笑顔がないという考えのもと事業所全体で職員個別で話し合いがされている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>勤務時間変更や環境に配慮した支援をおこなっています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修費用負担や、勤務状況を把握し向上して働けるよう支援しています</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流は、重要と思います、勉強会開催等には参加し交流を図っています。良いと思われることは、真似をするなど取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前面談を行い要望など伺い安心の提供に努めています</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>出来る事・出来ない事など説明し、御家族様の要望・不安など伺い信頼関係づくりに努めています</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者様の状態・状況を把握し臨機応変に対応できるよう支援しています</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>出来る事に視点を置き、毎日の生活で共に過ごす家族として支え合う関係作りに努めています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活の様子を毎月お送りして現状を解っていただき、今、できる支援を共に行うなどしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話をかけたり、訪居されたら談話室や居室で談笑していただくなど支援しています	近所の方、親戚の方、教え子の来所がある。職員と衣替えに自宅に帰ったり墓参りに行ったり、家族と兄弟の家に行ったり病院受診したりしている。また、電話や手紙でも関係が継続出来るよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士個々の居室を訪問されたり、出来る事に共に参加されたり、危ない時は職員へ知らせてくださるなどあります。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設への紹介や居宅ケアマネとの連携、ご家族の相談等の支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	朝・夕の集い、ケア提供中の会話等で発せられた言葉を拾い上げたり、思いを伺ったりして可能な限り添えるよう支援しています。	職員全員が利用者全員を熟知してこそ寄り添った支援が出来る。生活の中での言葉や思いを記録に残し職員全員でのカンファレンスで情報の共有をし細やかな支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前面談・入居後に本人・ご家族・関係者から情報を得把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	月1回カンファレンスを開催し情報を共有して個々に適した支援に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月各担当者がモニタリングを行いカンファレンス等で出された意見・ご家族の意向を伺いプラン作成を行っています。	アセスメント、担当者がモニタリングを行い利用者・家族・医療関係により介護計画が作成されている。より良い作成のため内部監査や管理者会議で話し合いがされ勉強会にも参加し本人本位の介護計画の作成に努力し、利用者の状況・状態に合った介護計画が出来ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個々の記録はパソコン入力となり気づきや実践したことなどを入力し情報を共有しています。モニタリング時は、記録を見直し次のプランに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>必要に応じ、ご家族と相談の上支援しています</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域のボランティアの方々の支援を受けたり鹿児島市の高齢者いきいきポイントを活用するなどして支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医は、ご家族・本人の意向で支援しています。</p>	<p>利用者・家族の希望のかかりつけ医を支援している。通院は、家族支援をお願いしているが、協力病院は事業所で同行支援している。訪問診療もある。母体が医療法人の為、利用者・家族の安心につながっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護を利用したり必要に応じ支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院に関しては、常に医療関係者、相談員と連携を図り支援しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状態・状況を常時ご家族へ報告連絡を行い、主治医と共に相談しながら支援しています</p>	<p>看取りの経験がある。入居時にも利用者・家族との話し合い、説明があるが、指針にもとづき状態に応じて同意書で確認している。主治医の意見指導のもと支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時に対してマニュアルを作成し目の付く位置に提示し勉強会を開催するなどしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>風水害に対し常に危機感を持ち2ヶ月に1回防災訓練を行うなどしています。</p>	<p>消防訓練を年2回、自主訓練を4回実施している。防災・救命の訓練研修もしている。訓練時には回覧をしたり通りに張り紙をして近隣にお知らせしている。町内会長・協力病院など地域の参加がある。防災頭巾・ヘルメット・マイク・笛など防災用品も備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々を把握し、適したケア提供ができるよう努めています。	入居時に利用者・家族に呼び方を聞き、親しみの中でも慣れ合う事がないよう人格を尊重している。生活の中で自由に行動出来るように、見守り支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを推察したケアに努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	柔軟な対応をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人・ご家族の意向・思いなど伺い支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	認知の進行や身体的に重度化しており、できることを見極めた支援に努めています	献立が詳細に作られ、月に一度は栄養師にアドバイスを受けている。野菜の下ごしらえ・茶碗洗い・配膳・下膳と利用者の参加も出来ている。10時と3時にお茶の時間があり、手作りのお菓子などが添えられる。また外食の月や出前の日、誕生会などより食事を楽しむ支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主治医・ご家族と相談しながら個々に支援しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は毎回口腔ケアを行い、できない部分は介助するなどしています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	できる限りトイレで排泄できるよう二人介助したり、一人一人の力量に合わせた支援をしています。	排泄チェック表を活用して誘導するほか、生活の時々のリズムに取り込んでトイレ時間を設けて定時の誘導をしている。声かけも利用者の表情・所作を見守りながら、一人ひとりに合わせて行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医と相談しながら個々に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	夜間帯は、安全確保が困難なため提供していませんが、最低、週3回は入浴があります、その他臨機応変な対応をしています。	週に3回の入浴設定だが、利用者の状況・天候に応じて臨機応変に対応している。順番を利用者同士で決めている。足浴には入浴剤を使い、主治医の指導のもと全員保湿剤を使用し皮膚が乾燥しないようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人ペースで支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に関しては薬剤師が管理しています、2ヶ月に1回個々に効能・副作用について勉強会も開催しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事・出来ない事を見極め個々に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>外食の月など設け、ご家族、本人と相談しながら支援しています</p>	<p>日常的に事業所の近辺を散歩している。挨拶や話のきっかけになるよう歌いながらとユニークである。庭にシートを広げお茶タイムにしたり外気浴にも務めている。外食の月を設けて遠足やそうめん流しに出かけたり、少人数でラーメン店に行ったり、家族支援でおはら祭りなどに出かけるなど希望にそった支援がなされている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族と相談上支援しています</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話取り次ぎもしています、自由に支援しています</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>環境整備に努め居心地よく過ごせるよう支援しています</p>	<p>オープンキッチンで見守りが行き届いている。季節の花が飾られ、職員が写真入りで紹介されている。和室があり談話コーナーはソファで利用者の一人ひとりのアルバムが置いてある。壁には手作りの防災頭巾、椅子のすべり止めにテニスボールを使用し家庭的な雰囲気がある。目の不自由な利用者がわかるようトイレのドアにぬいぐるみを下げるなど優しい工夫がある。加湿器を置き乾燥に注意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個々に思い思いの場所で過ごしたり自由にされています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に馴染みの物を持参していただくよう声をかけています、ご家族と相談の上居室作りをされています。</p>	<p>居室の戸は、格子戸風の引き戸になっている。ダンス・ハンガー・椅子・仏壇・テレビ・写真・ぬいぐるみなどが設えられており、ベッドも好みで電動にしたり位置を考えたり居心地よく過ごせるよう配慮されている。各居室の壁には防じんマスクや避難札が備えてある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>可能な限り自立した生活ができるよう努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない